

## 花巻高等看護専門学校学校関係者評価委員会報告書

### 審議内容

1. 花巻高等看護専門学校学校関係者評価委員会規定第5条に示す9項目について、各委員の意見を聴取し、「良好」、「改善の余地あり」、「改善の必要あり」との3段階で評価した。

#### 【①教育理念・教育目的】

評価：良好

質問・意見等：なし

#### 【②教育目標】

評価：良好

質問・意見等：なし

#### 【③教育課程経営】

評価：良好

質問・意見等：なし

#### 【④教授・学習・評価過程】

評価：一部改善の余地あり

質問・意見等：

・細目「授業内容間の重複や整合性、発展性」に関し、各科目間の重複部分の多寡状況、またその場合の、教員間での調整方法について質問があった。これに対し、科目によっては多くの重複部分がみられ、授業の効率化のために教員間の調整が必要と考えるが、重複部分につき集約的な情報がない状況であるため、現在、カテゴリーごとにマトリックス化することで明確化する作業を進めている旨説明があった。本質疑につき、委員会として、今後改善されると評価した。

・細目「学生に対し効果的な教育・指導を行うための、教員間の協力体制」に関し、各教員間での協力体制について質問があった。これに対し、生じた問題点を解決するために、学則に基づいた各種委員会で、対応している旨説明があった。本質疑につき、委員会として、良好であると評価した。

・細目「評価結果に基づいて、実際に授業を改善している」等に関し、学生からの授業評価方法について質問があった。これに対し、各授業で各教員が任意でアンケートを行っている例はあるが、現在学校として統一的な方法はない旨説明があった。本質疑につき、委員会として、学校として統一的な授業評価方法の導入を検討することが望ましいとの意見を付した。

#### 【⑤経営・管理過程】

評価：一部改善の余地あり

質問・意見等：

・細目「養成所は明確な将来構想のもとに、…」に関し、短中長期各段階における将来構想に

ついて質問があった。これに対し、現在多くの看護系学校の過当競争状態を鑑み、より質の高い入学生を確保するために、いくつかの方法を思案中である旨説明があった。本質疑につき、委員会として、なるべく早期に、具体的な将来構想を学校全体で共有するのが望ましいとの意見を付した。

#### 【⑥入学】

評価：良好

質問・意見等：評価項目以外の提案

・本校の魅力を積極的に高校生へアピールする機会として、オープンスクールを今まで以上に活用すると良いのではないかとの意見があった。また、在校生・卒業生に関しては、本校へ入学して良かったと思える環境づくりも考慮してほしいとの意見があった。

#### 【⑦卒業・就職・進学】

評価：一部改善の余地あり

質問・意見等：

・細目「卒業時の到達状況を分析している」に関し、看護師国家試験合格状況との関連について質問があった。これに対し、例年1～2名の学生が不合格になる現状を分析し、具体的に学校側として何ができるかを検討中である旨説明があった。本質疑につき、委員会として、今後改善されると評価した。

・細目「卒業生の就職先での評価を把握し、問題を明確にしている」に関し、卒業生の就職施設との連絡・意見交換手段はあるか質問があった。これに対し、今後、連絡手段の構築を検討する旨説明があった。本質疑につき、委員会として、今後改善されると評価した。

・細目「卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している」に関し、卒業生の就職先の感想等も積極的に収集し、在校生が就職先を決める資料として提示してほしいとの意見があった。これに対し、今後、できるだけ資料を収集したい旨説明があった。本質疑につき、委員会として、今後改善されると評価した。

#### 【⑧地域社会／国際交流】

評価：一部改善の余地あり

質問・意見等：

・細目「社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している」等に関し、地域の要望を把握し、また、十分な地域貢献ができているか質問があった。これに対し、昨今のコロナ禍の状況において、学校としての地域活動が制限されており、現状では十分な活動ができていないが、今後、可能な限りの方法を模索・検討していきたい旨説明があった。本質疑につき、委員会として、今後改善されると評価した。

・細目「国際的視野を広げるための授業科目を設定している」等に関し、例年自己評価が低い本項目につき、学校側の具体的な取り組みについて質問があった。これに対し、例年、「国際看護」関連の授業を、実際に海外で活動されている講師に依頼しており、また、学生からの評価も高いことから、今後も続けていきたい旨説明があった。また、海外で医療活動経験のある卒

業生を招聘し、経験を紹介してもらうことも検討している旨説明があった。本質疑につき、委員会として、良好であると評価した。

#### 【⑨研究】

評価：一部改善の余地あり

質問・意見等：

・「研究」について、例年自己評価が低い理由について質問があった。これに対し、多くの職員が病院主催の看護研究の講義に参加しており、また、学校としても看護研究を行うための準備をしていることから、本項目の自己評価が低い理由として、各教員の苦手意識という心理的なものに起因する可能性があり、視点を変えることで高評価に転換するのではないかとの説明があった。また、今後は、総合花巻病院との共同研究も視野に入れていきたいとの計画も示された。本質疑につき、委員会として、今後改善の余地ありと評価した。

## 2. その他

本評価項目全般において、自己評価の平均点が高かった項目については、高水準を維持できるようにすべきとの意見があった。また、外部評価項目として、他校の取り組みも参考になるのではないかとの意見があった。これに関し、今後、他校の評価項目を参考に、より適切な外部評価の方法を検討することを、本委員会として確認した。

さらに、在校生による令和2年度学校評価アンケートをもとに、評価事項以外の参考的意見を聴取した。とくに低評価（5段階評価で2以下が目立つもの）だった、質問33「学校と保護者の連携がとれている」について質問があった。これに対し、今までは成績不振者数名のみが2者面談の対象だったが、今後は、希望者まで対象を拡張することを検討する旨説明があった。

その他、卒業生委員の学校に対する具体的な要望として、グループワークの積極的活用、学校での先輩後輩関係を構築する機会の提供、技術習得のための実習時間の拡大、等が挙げられた。貴重な意見として、今後の検討することとした。

## 3. 総括

5項目が「改善の余地あり」との評価となったが、すべて、現在、改善中もしくは計画中のものがほとんどであった。この度の指摘を受け、次年度にはより改善するものと思われる。

以上